

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第43号

令和2年1月15日発行
発行/千葉県がんセンター

基本理念

私たちは、心と体にやさしく、希望の持てるがん医療を提供します。

巻頭言



がんの予防、治療にもフィットネス

診療部長 ^{たか} ^の ^{ひで} ^{ゆき}
高野英行

NHKの「みんなで筋肉体操」やライザップによるパーソナルトレーナーなど、フィットネスブームである。一方で、超高齢社会の中、医学的にも、サルコペニア（加齢により、筋肉量減少、筋力や身体機能が低下）、フレイル（加齢により、身体予備能力が低下し、健康障害を起こしやすい）が問題になり、健康寿命を延ばすために、注目されています。食事に加えて、運動療法が重要であり、老いも若きも、フィットネスブームとなっている。

今回は、フィットネスとがんとの関連について述べたい。

まず、がん予防では、身体活動は大腸がんのリスクを減少することがほぼ確実であり、乳がんのリスクを減少する可能性が高いことも示されている。厚生労働省「健康づくりのための運動指針2013」で、18～64歳の身体活動基準として歩行又は歩行と同等以上の運動を毎日60分行うことが推奨されている。

では、手術療法に関してはどうか。JAMA Surg（オンライン版2019年11月13日）に、フレイル状態は、低侵襲手術でも致命的になる可能性があるとの論文が掲載された。米国退役軍人43万人超を対象にフ

レイルと手術の生理学的ストレス強度、術後の死亡率の関連を検討している。その結果、フレイルでは、手術のストレス強度を問わず術後30～180日の死亡率が上昇した。フレイルの30日死亡率は、膀胱鏡手術の様な最低限のストレスの手術では1.55%、腹腔鏡下胆嚢摘出術の様な中等度ストレスの手術後は5.13%であり、高リスク手術と定義される1%を超える死亡率であった。

化学療法ではどうか。Eur J Prev Cardiol（オンライン版2019年10月6日）に発表されたイタリアの研究では、抗がん薬によって引き起こされる心毒性に対し、臨床症状を未然に防ぐ運動療法の有益性をレビューしており、運動療法は治療中および治療後の心毒性を打ち消す効果がある。化学療法前に体力を向上させておくプレリハビリテーション運動処方することで、乳がん患者で治療による有害事象を回避できたという。さらに治療後24～48時間のNT-proBNPが有意に減少した。このことは、治療開始前にできるだけ早く運動を開始する重要性を示唆している。

がんの予防、治療成績にフィットネスが重要であることが明らかになり、将来的には、がんセンター来院前に、フィットネスジムを予約する時代がくるかもしれない。

臨床の現場から

ロボット手術について

呼吸器外科部長 岩田 剛和

近年、「ロボット手術」が広まっています。ロボットといっても、機械が勝手に手術してくれる訳ではなく、「ロボットアーム」を外科医が操作して手術する技術です。執刀医は患者さんの横でロボットを操作し、助手が小さなキズから体の中に挿入した複数のロボットの手(電気メスやピンセットなどの働きをもった各種の先端に交換できます)が、執刀医の指先の動きを正確に再現します。従来の腹/胸腔鏡と異なるのは、①体の中で使用する道具が棒状の不自由なものではなく、沢山の関節により自由な向きに曲がり精密な操作ができること、②カメラも執刀医がコントロールし、通常の手術よりも遙かに拡大した視野で立体視できること、③手ぶれ防止機能で安定した動きができること等です。同じ小さなキズでも従来の腹/胸腔鏡手術より狭い空間での複雑な作業が可能となります。

世界では既に様々な領域の外科手術に用いられていますが、日本ではこれまで、泌尿器科領域でだけ保険診療として行われていました。前立腺癌についてはそ

の効果が認められ、今や我が国の前立腺癌手術の6-7割がロボットで行われているということです。当院の泌尿器科では2011年にいち早くロボットを導入し、国内屈指の経験数を重ねています。

2018年度から、肺癌、胃癌、直腸癌、子宮体癌などでもロボット手術が保険診療として認められました。当院でもそれぞれの領域で準備を進め、順次開始しています。病院や千葉県の倫理審査を受け、規定のトレーニングを受けて技術認定された術者・助手を養成した上で、最初は先行施設の慣れた先生方の応援を受けて開始しています。また、通常の保険診療として行うまでには疾患毎の経験数を積んで施設認定を受ける必要があります。上記の新規領域の中では、肺癌については1月から通常の保険診療として行える見込みです。

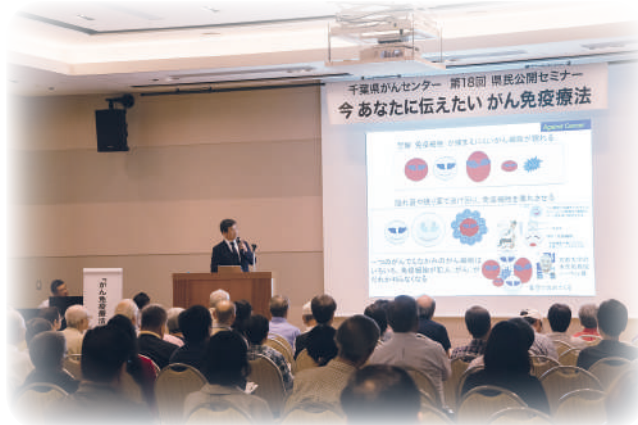
まだロボットの台数や手術枠の問題があるほか、全ての人にロボット手術が向いているというわけではありませんが、関心のある方は主治医にお尋ね下さい。



県民公開セミナーの報告

今年で18回目を迎える県民公開セミナーを令和元年9月21日(土)午後1時から千葉駅7階ペリエホールA、Bで開催しました。今回のテーマは「今あなたに伝えたいがん免疫療法」です。山口病院長によるあいさつの後、治験臨床推進部長の三梨医師が「胃がん治療における免疫チェックポイント阻害薬」、呼吸器内科部長の新年内医師が「最近の肺がん薬物療法」、診療部長の高野医師が「新薬の治験と臨床試験について」、研究所の永瀬医師が「がん免疫療法最近の話題」と題し、講演しました。後半の総合討論では、座長の高野医師を中心に講演者が、参加者の皆様から寄せられた質問にお答えしました。

当日は、約140名の方に御参加いただきました。来場者の方々から寄せられたアンケートには「免疫療法のデメリットも含めて、理解が進んだ」、「パネルディスカッションはとても良い」等のお声をいただいた一方で、セミナーの運営・広報の面で率直な御意見もあり、今後の課題としていきたいです。



地域医療連携室だより

AYA世代がん患者への支援

がん相談支援センター 中村 晃子

A Y A世代、という言葉をお聞きになったことがありますか？

これは『adolescent and young adult』の略で15～39歳までの思春期・若年成人のことを意味します。身体的、社会的に大きく発達し変化する世代が、がん罹患することでこれらが大きく損なわれる可能性があります。そのため、自立の度合いや家庭環境に合わせた個々への支援が重要だと言われています。25歳以下ですと、年間で人口10万人に6例未満の発生頻度という希少がん罹患している割合も高く、病気や治療に関する情報が少ないのが現状です。

厚生労働省の研究班の調査※で、今後の自分の将来のこと・不妊治療や生殖機能に関する問題・仕事のこと・後遺症や合併症のこと等、悩んでいるが相談先がなかった、情報にたどり着けなかった、という患者さんが多いことがわかりました。こうした思いを患者さんやご家族がしないこと、患者さん一人ひとりに合わせた支援が必要な時に受けられることを目指してA Y

A世代がん患者への支援が国を挙げて始まっています。

千葉県がんセンターでも、今年度よりA Y A世代がん患者支援チームを立ち上げました。診療の場からこの世代の患者さんを相談の場に繋ぎ、治療に際して考えることや準備すること、情報を得る方法や周囲の人との関係に関すること等、タイムリーな支援を受けられるような体制を作っている所です。もし悩まれている方がいらしたら、がん相談支援センターでご相談をお受けします。支援や情報の提供には、当院医療スタッフも協働しますので、ご利用下さい。

※「総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究」(H27-がん対策-一般-005)



クスリの名前

治験臨床研究センター診療部長 石井 浩

クスリの開発は、動物実験等に代表される前臨床試験から、ヒトに対する安全性有効性を確認する臨床試験を経て、薬事承認をとり製造販売が許可され市販されるまでであり、9～17年の歳月がかかります。クスリは、前臨床試験から早期の臨床試験には開発コードネーム（例：ONO-4538）、臨床試験時には一般名（例：ニボルマブ）、市販時には商品名（例：オプジーボ）と名前が変わります。出世魚のように順調に名前が変わり、商品名にたどり着ける確率は約2万7000分の1といわれています。

治験アップデート

治験臨床研究センターでは募集中の治験等の情報を提供しています。概要は以下のとおりですが、詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

当センターでは以下の治験を実施しています

ホームページアドレス

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kanja/chiken/jissijoukyou.html>



現在募集中の治験情報 令和元年11月6日現在

①乳がん	3件	④前立腺がん	4件	⑦食道がん	3件	⑩悪性リンパ腫	2件
②胃がん	5件	⑤膀胱がん	5件	⑧睪がん	2件		
③大腸がん	1件	⑥腎細胞がん	1件	⑨胆道がん	2件		

研究の現場から

がん免疫療法のプレジジョンメディスンを目指して

富樫 庸介

免

疫チェックポイント阻害剤やCAR-T細胞療法に代表されるがん免疫療法の効果が様々ながんで証明され、がんの治療体系を大きく変えたといわれています。しかしながら免疫チェックポイント阻害剤の効果は単剤では30%前後とまだまだ十分ではなく、どういった患者さんに有効なのかを予測するような効果予測バイオマーカーや、より効果の高い治療方法が求められています。免疫チェックポイント阻害剤の効果には直接がん細胞を攻撃しているような免疫細胞が最も重要であり、免疫チェックポイント阻害剤はそういった免疫細胞を活性化して効果を発揮していると考えられています。そこで我々は直接がん細胞を攻撃しているような免疫細胞を実際の患者さんの体の中で同定することを目指しています。「ゲノム医療」ということでがんの遺伝

子解析が注目されていますが、残念ながら不均一な免疫細胞を塊にして遺伝子解析するだけでは正確に評価することは難しいです。一方で不均一な免疫細胞を1細胞レベルで解析することで、より精密な評価が可能となります。我々はこの手法を独自に発展させて実際の患者さん腫瘍検体を解析し、がん細胞を直接攻撃するような免疫細胞を見つけ、実験的にも検証しています。その特徴的な分子もいくつか見出し、こういったマーカーをベースにすれば治療効果を予測することが可能となり、がん免疫療法も「ゲノム医療」同様のプレジジョンメディスン、さらには個別化細胞療法のような究極のがん治療が実現できるのではないかと考えています。

腫瘍に浸潤している免疫細胞を1細胞レベルで解析することで
がん細胞を直接攻撃するような免疫細胞集団を同定した



第9回 心と体総合支援センターシンポジウム開催のお知らせ

今回で9回目となるシンポジウム、今年は『「がんをもっと知る」—どう探す？正しいがん情報—』をテーマに掲げています。講演は帝京大学医学部内科学腫瘍内科准教授の渡邊清高先生にお引き受けいただきました。

このシンポジウムの特徴であるパネルディスカッションは、来場者にアナライザーシステム(アンケートを自動集計するもの)を使って参加していただきます。今回はNPO法人支えあう会「a」副理事長である野田真由美さんをコーディネーターに加えて、講師、胃がん体験者とがん相談の担当者がそれぞれの立場から、がん情報に関する現状など御参加の皆さんと考えていきます。お問い合わせは、千葉県がんセンターがん相談支援センターまで。

開催日時：令和2年2月2日(日) 13~16時(12時開場)

場 所：ペリエ千葉7階 ペリエホール



千葉県がんセンター 心と体総合支援センターシンポジウム

「がんをもっと知る」 — どう探す？正しいがん情報 —

あふれるがんの情報。「正しい」情報がなかなかわからない、
といった経験はありませんか？そんな疑問を少しでも解消
するため、一緒に考えてみませんか？

令和2年2月2日(日) 13時~16時(12時開場)

講演講演
帝京大学医学部内科学
腫瘍内科 准教授
渡邊 清高氏
【所属】
千葉県がんセンター がん相談支援センター 准教授
【講演テーマ】
「がん情報」をどう探す？

パネルディスカッション
【コーディネーター】
NPO法人 支えあう会「a」
副理事長 野田真由美 氏
【講師】
がん相談支援センター がん相談支援センター 准教授
【コーディネーター】
千葉県がんセンター がん相談支援センター 准教授
【コーディネーター】
千葉県がんセンター がん相談支援センター 准教授

会場：ペリエ千葉7階 ペリエホール
申込不要：当日定員200名

入場無料

お問い合わせ先
千葉県がんセンター 心と体総合支援センター
〒260-8717 千葉県千葉市中央区新大塚3-1-1
TEL: 043-298-3321

小児がん連携病院に指定されました

小児がんのような希少がんでは拠点病院などに患者さんを集約することが重要です。今回、小児がん拠点病院（全国15ヶ所）と連携して小児がん医療を提供する小児がん連携病院（全国100ヶ所程度）が新たに設置されることになり、当院が小児がん連携病院（類型2：診療を集約すべき特定のがん種に対し適切な医療が提供可能な病院）の指定を受けました。当院で扱う小児がんの種類は、骨腫瘍、軟部腫瘍、脳脊髄腫瘍です。我々は関東甲信越ブロックの4つの小児がん拠点病院と連携し、先進的で高度な小児がん医療を提供します。また、小児から成人への移行がスムーズに行うことができ、晩期合併症に対するケアも可能であるという成人のがんセンターならではのメリットを生かして、小児がん患者さんに充実したトータルケアを提供します。

秋の夜に響く弦の調べ、身動きもせず聴き入りました



今年で8回目を迎える「加藤玲名ヴァイオリンコンサート」が、10月31日（木）午後6時半から外来ホールで開催されました。

バイオリンの小品や童謡、テレビで話題の曲など毎回素敵な曲をこれまで演奏されてきましたが、今回初めて本格的なクラシック曲、ブラームス作曲『バイオリンソナタ第2番作品100』を披露してくださいました。

マイクなしの生のバイオリンの響きと、高度なテクニックのピアノ伴奏（鹿目純子さん）の、美しく心地よいメロディーに誘われるように、会場に集まったみなさんは20分を超える曲を身動きもせずに聴き入りました。クラシックというよりバイオリンの生演奏を聴くのが初めて、という患者さんの中にはいらっしやいましたが、「思いがけなく初めてのバイオリンが聴けて良かった」と拍手を送りながら帰って行かれました。また「今日が退院の日でしたが、ちょっと延びてしまって。でも、おかげでバイオリンが聴けて嬉しい！」「G線上のアリアを弾いている指をじっと見ていました。生のバイオリンに涙が出ました」との声や、「生演奏ならではの音色の美しさを感じることができ、感激しました」との感想も。加藤さん、鹿目さん、心に残る素晴らしい演奏をありがとうございました。

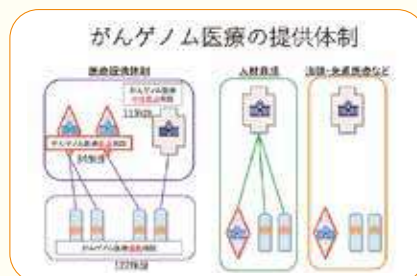
がんゲノム医療拠点病院に指定されました

がんゲノム医療委員会・診療部長 石井 浩

千葉県がんセンターは、令和元年9月19日に厚生労働省から「がんゲノム医療拠点病院」（全国34施設）の指定を受けました。がんゲノム医療拠点病院は、中核拠点病院（全国11施設：東京大学、国立がん研究センター等）なみの診療体制を敷き、がんゲノム医療を自施設で完結する機能を有する病院として選定されています。がんゲノム医療とは、主ながんの組織を用いて多数の遺伝子を同時に調べ、ひとりひとりのがんの個性に合わせた個別化治療を行う医療です。

中核拠点病院と拠点病院は、自施設だけではなく傘下の連携病院（全国122施設）も含めたがんゲノム医療の提供（エキスパートパネル：専門家会議）を主導する立場になります。千葉県の中核拠点、拠点病院はそれぞれ国立がん研究センター東病院と当センターの2施設です。関東各県の施設数（中核拠点+拠点：連携）は、東京（6：17）、神奈川（3：3）、千葉（2：2）、埼玉（2：3）、茨城（1：1）、栃木（0：3）、群馬（0：1）になります。全国20県には中核拠点・拠点病院が指定されていません。

がんゲノム医療千葉県ネットワークの中心的役割を果たすべく、当センターは新病院に向けてより一層体制を強化整備していきます。ご期待下さい。



初診担当医表

予約受付時間 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始を除く) 9時～17時

2020年1月1日現在

診療科	月	火	水	木	金
肝胆脾外科	千葉 聡	高山 亘	高山 巨 石毛 文隆	柳橋 浩男	千葉 聡 有光 秀仁
食道・胃腸外科	池田 篤亨 外岡	鍋谷 圭宏 早田 浩明 外岡 亨	滝口 伸浩 池田 篤	鍋谷 圭宏 滝口 伸浩 郡司 久	早田 浩明 星野 敢
消化器内科	傳田 忠道 鈴木 拓人 喜多絵美里 三梨 桂子	傳田 忠道 須藤 研太郎 天沼 裕介 南金山 理乃	山口 武人 傳田 忠道 中村 和貴 三梨 桂子	傳田 忠道 鈴木 拓人 三梨 桂子 石井 浩	中村 和貴 須藤 研太郎 天沼 裕介 北川 善康
呼吸器外科	岩田 剛和		飯笹 俊彦 岩田 剛和 松井 由紀子		岩田 剛和 松井 由紀子
呼吸器内科	芦沼 宏典 水野 里子	新行内 雅斗 吉田 泰司 芦沼 宏典		新行内 雅斗 吉田 泰司 水野 里子	芦沼 宏典
乳腺外科	山本 尚人 味八木 寿子	味八木 寿子 中村 力也	中村 力也 山本 寛人	山本 尚人 味八木 寿子	中村 力也 味八木 寿子 山本 寛人
形成外科				徳元 秀樹	徳元 秀樹
婦人科	鈴鹿 清美 婦人科 腹腔鏡	田中 尚武 鈴鹿 清美 井尻 美輪 海老沢 桂子 後藤 裕磨	田中 尚武	鈴鹿 清美 井尻 美輪 海老沢 桂子 糸井 瑞江	井尻 美輪 海老沢 桂子
泌尿器科	小丸 淳 篠原 正尚	ベス さんじょうん 斐 祥存	宋本 尚俊 石橋 武大	小林 将行 植村 俊彦 篠原 正尚	深沢 賢 石橋 武大
腫瘍血液内科	熊谷 匡也 佐藤 昌靖 丸山 聡	辻村 秀樹 菅原 武明 武内 正博	熊谷 匡也 菅原 武明 佐藤 昌靖	辻村 秀樹 武内 正博	熊谷 匡也 辻村 秀樹 丸山 聡
脳神経外科	井内 俊彦 堺田 司	(担当医)	井内 俊彦	(担当医)	堺田 司
頭頸科	(担当医)	佐々木 慶太 佐々原 剛 櫻井 利興		佐々木 慶太 佐々原 剛 櫻井 利興	
整形外科	米本 司 塚西 敏則 木下 英幸	石井 猛 鴨田 博人 木下 英幸 萩原 洋子		石井 猛 鴨田 博人	米本 司 塚西 敏則 木下 英幸 萩原 洋子
緩和医療科	坂下 美彦	藤川 文子	坂下 美彦	藤川 文子	坂下 美彦
核医学診療部		小川 和行	久山 順平	久山 順平	小川 和行

診療予約のご案内 予約電話 043-263-4071 地域医療連携室 予約担当

- *当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとり下さい。
- *初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ち下さい。



JR千葉駅から 所要時間:約25分

千葉中央バス: 誉田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・千葉県がんセンター前下車
小湊バス: 千葉県がんセンター行乗車・終点千葉県がんセンター前下車

JR鎌取駅から 所要時間:約13分

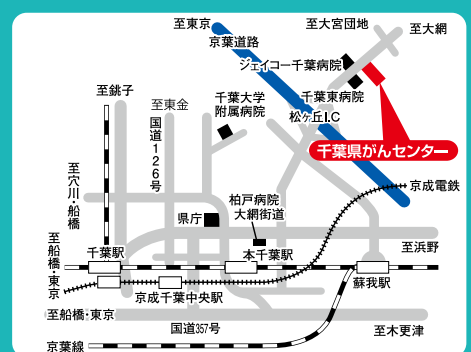
千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

JR蘇我駅から 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>